

「神は、みこころのままに、あなた方のうちに働いて志を立てさせ、事を行わせて下さるのです。」
新約聖書 ピリピ人への手紙 2章 13節

新しい年度が始まり、日本から桜満開のニュースを聴く今日この頃ですが、オリブの皆様はいかがお過ごしでしょうか。進学、進級の季節で、何かと気忙しい時ではないかと思えます。

冒頭の聖書は使徒パウロがギリシャのピリピの町の教会にあてた手紙ですが、皆さま方もこのみ言から大いなる励ましを受けることと確信いたします。

I 神様のみこころ

人生に苦難はつきものですが、苦難の意味を知ることが出来れば、困難に対する態度が全く違ってくると言うことが聖書の教えです。

人間は意味のない苦痛には耐えられなくても、そのことの意味や目的を知ることが出来れば新しい価値観を持つことができるのです。子育ても同様です。親は誰でも自分の子どもの発達が標準より早ければ喜びますし、親の思い通りに成長すれば満足します。けれども、それでは親の基準は人と比較して優位に立つことと、(子どもではなく)親自身の人生を子どもを通して実現することだと言われても否定しようがありません。これでは、子どもの独自の人生が親によって奪われかねません。

私の子どもへの創造の神様のみ心、即ち最善のご計画は何だろうか？それを尋ね求めることから子どもへの新しい接し方、新しい価値観が導かれるのです。

II 志を立てる

志とは強い意志のことです。困難にめげない強い意志とは、明確な動機付けから生まれます。明確な動機付けとは外的動機付けではなく、内的動機付けのことを言います。内的動機付けとは、報酬や地位や名誉ではなく、本人の成熟した良心や特性にあった目標を自ら持ち、その目標の達成へと自ら取り組もうとする心的態度のことを言います。

このような内的動機付けによって生きている人は人生の困難にめげないばかりか、それを乗り越えて、新しい価値観、新しい世界へとスタートすることができるのです。

このような志は、神様のわが子への最善のご計画を知る時、皆様にも勿論、皆さまのお子さんご自身にも与えられるものなのです。私たち夫婦、私たち親子、いや私自身への神様のご計画は何か？そこから、明確な志が生まれるのです。

III ビジョンの実現

神様のご計画に一致した志は必ず(強い力で)実現すると聖書は教えます。どうか一緒に聖書を学び、あなたとあなたの家族への神様の祝福に満ちた最善のご計画を発見していただきたいのです。それが子育ての第一歩であり、ゴールでもあるのです。

参)「子育てセミナー基礎編」初回 5月9(金)午前10時半から20Fにて

カウンセリングの申し込みは shbam50@yahoo.co.jp へ原則無料です。